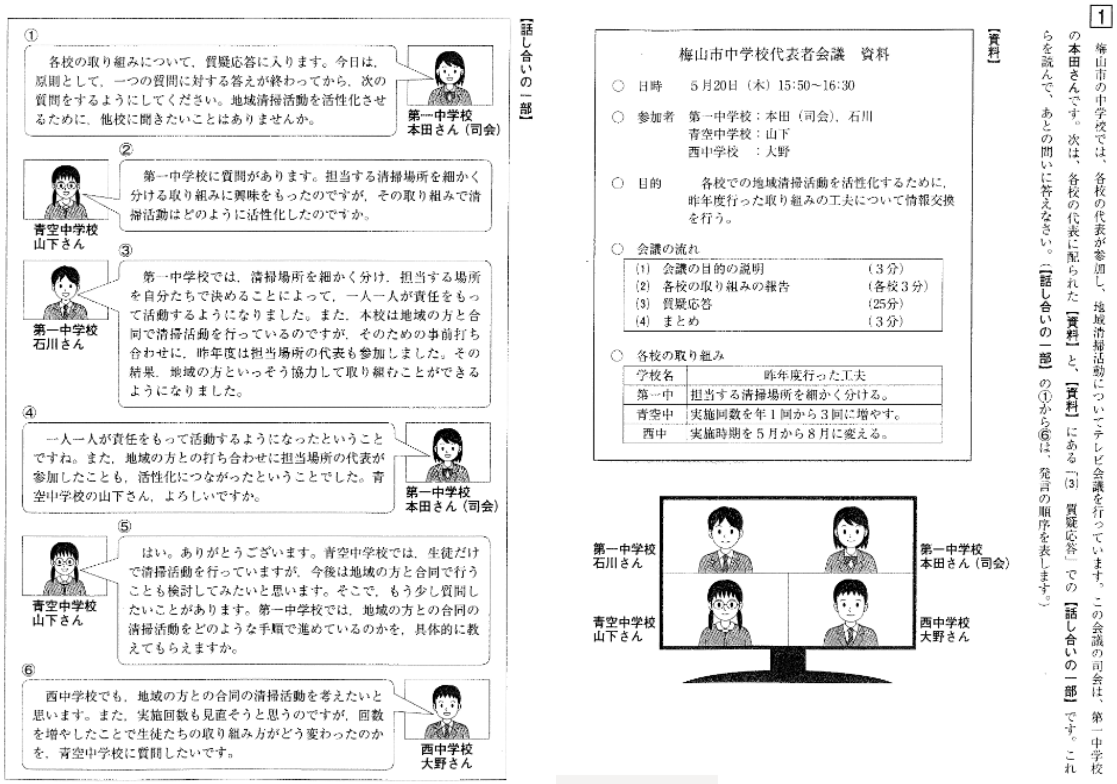
今の時代に求められる力

突然ですが、下の問題は、何のテスト問題でしょうか？



1　梅山市の中学校では、各校の代表が参加し、地域清掃活動についてテレビ会議を行っています。この会議の司会は、第一中学校の本田さんです。次は、各校の代表に配られた【資料】と、【資料】にある「(3)　質疑応答」での【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【話し合いの一部】の①から⑥は、発言の順序を表します。）

【資料】

梅山市中学校代表者会議　資料

○ 日時　5月20日（木）15:50～16:30

○ 参加者　第一中学校：本田（司会），石川
青空中学校：山下
西中学校　：大野

○ 目的　各校での地域清掃活動を活性化するために，昨年度行った取り組みの工夫について情報交換を行う。

○ 会議の流れ

(1)	会議の目的の説明	（3分）
(2)	各校の取り組みの報告	（各校3分）
(3)	質疑応答	（25分）
(4)	まとめ	（3分）

○ 各校の取り組み

学校名	昨年度行った工夫
第一中	担当する清掃場所を細かく分ける。
青空中	実施回数を年1回から3回に増やす。
西中	実施時期を5月から8月に変える。

【話し合いの一部】

①
各校の取り組みについて，質疑応答に入ります。今日は，原則として，一つの質問に対する答えが終わってから，次の質問をするようにしてください。地域清掃活動を活性化させるために，他校に聞きたいことはありませんか。
第一中学校 本田さん（司会）

②
第一中学校に質問があります。担当する清掃場所を細かく分ける取り組みに興味をもったのですが，その取り組みで清掃活動はどのように活性化したのですか。
青空中学校 山下さん

③
第一中学校では，清掃場所を細かく分け，担当する場所を自分たちで決めることによって，一人一人が責任をもって活動するようになりました。また，本校は地域の方と合同で清掃活動を行っているのですが，そのための事前打ち合わせに，昨年度は担当場所の代表も参加しました。その結果，地域の方といっそう協力して取り組むことができるようになりました。
第一中学校 石川さん

④
一人一人が責任をもって活動するようになったということですね。また，地域の方との打ち合わせに担当場所の代表が参加したことも，活性化につながったということでした。青空中学校の山下さん，よろしいですか。
第一中学校 本田さん（司会）

⑤
はい。ありがとうございます。青空中学校では，生徒だけで清掃活動を行っていますが，今後は地域の方と合同で行うことも検討してみたいと思います。そこで，もう少し質問したいことがあります。第一中学校では，地域の方との合同の清掃活動をどのような手順で進めているのかを，具体的に教えてもらえますか。
青空中学校 山下さん

⑥
西中学校でも，地域の方との合同の清掃活動を考えたいと思います。また，実施回数も見直そうと思うのですが，回数を増やしたことで生徒たちの取り組み方がどう変わったのかを，青空中学校に質問したいです。
西中学校 大野さん

今日は、突然の質問から始まりました。上の図は右側→左側の順に見てください。HP 画面では見にくいと思いますので、テスト問題の内容を簡単に説明しますと、右側は、「ある市内の３中学校で地域掃除についてのテレビ会議を行っている」という設定の説明、左側は、市内各中学校の代表生徒の発言となっています。

改めて質問ですが、このテストは何のテストでしょう？　ぱっと見た感じでは、何かわかりにくいと思います。特に私は、頭が昭和の人間ですので、「これってそもそも国語？」と思ってしまいます。正解は、『全国学力・学習状況調査』国語の1の１～２ページ目です。今日は、全国学力・学習状況調査の実施日です。１時間目の国語の問題用紙を開くと、いきなりこの図が出てきたということです。昭和の頭の私からすると、国語の1は長い文章があり、それを読んで漢字を答えたり、その文章に関する内容を答えたりするというイメージです。しかし、近年、全国学力調査や福岡県公立高校入試問題を見ると、単に知識を問う問題だけではなく、文章や図から読み取ったり、考えを表現したりするという問題が増えています。かつての「鳴くよウグイス平安京＝７９４年に平安京へ遷都」というような知識として覚える学習だけではなくなってきています。

なお、上の問題の最後の設問は、「最後に誰がどのように発言したら良いと考えますか？　その理由はなぜですか？　話のやりとりを踏まえ、どのように発言したらよいかを書きなさい」という問題となっています。これはなかなか手ごわい問題です。読解力が必要なのは当然ですが、会話の流れをもとに会話の内容を判断する力や、判断した内容を適切に表現する力も求められます。単に知識を答えたり、１問１答のような解答方法ではありません。これまで学習してきたことを活用して、問題を解く力が必要となります。

では、次に数学の問題の一部を見てみたいと思います。

6 自然数を５つずつに区切った表があります。この表で，縦に２つ，横に２つの数が入る四角で４つの数を囲みます。例えば，右の図１のように四角で４つの数を囲むとき，左上の数は３，右上の数は４，左下の数は８，右下の数は９になります。

図１

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

優太さんと真菜さんは，右の図２のように，４つの数を囲んで，それら４つの数の和がどんな数になるかを調べています。

図２

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35

１，２，６，７のとき　$1+2+6+7=16=4\times4$
９，10，14，15のとき　$9+10+14+15=48=4\times12$
22，23，27，28のとき　$22+23+27+28=100=4\times25$

優太さんは，これらの結果から，四角で４つの数を囲むとき，４つの数の和はいつでも４の倍数になると予想しました。

次の（１）から（３）までの各問いに答えなさい。

（１）四角で囲んだ４つの数が12，13，17，18のとき，４つの数の和は４の倍数になることが成り立つかどうかを下のように確かめます。下の［　　］に当てはまる式を書きなさい。

12，13，17，18のとき　$12+13+17+18=60=$［　　］

（２）二人は，四角で４つの数を囲むとき，４つの数の和はいつでも４の倍数になることが成り立つかどうかについて話し合っています。

優太さん「左上の数が１のとき，左下の数が６になっているね。四角で４つの数を囲むとき，左上の数に５をたすと左下の数になっているよ。」
真菜さん「そうなるのは，自然数を５つずつで区切っているからだね。」
優太さん「左上の数を n とすると，左下の数は $n+5$ と表すことができるね。」
真菜さん「右上の数と右下の数も n を使って表して，４つの数の和について調べてみよう。」

「四角で４つの数を囲むとき，４つの数の和はいつでも４の倍数になる」という優太さんの予想が成り立つことの説明を完成しなさい。

説明

n を自然数として，四角で囲んだ４つの数のうち，
左上の数を n とすると，右上の数は $n+1$，
左下の数は $n+5$，右下の数は $n+6$ と表される。
これら４つの数の和は，

$n+(n+1)+(n+5)+(n+6)$
$=$

この問題は、左上から各列５つずつ並んだ数字について、関係性を式を用いて説明する問題です。この問題でもまずは読解力が必要となります。文章の中から問題を解くかぎを見つけ出さなければいけません。そして見つけ出したかぎをもとに数学的活動をとおして解答を得ます。

この問題でもやはり単に計算をするだけではなく、式を用いて表したり読み取ったりすることが必要となります。

最後に今年の３月に行われた公立高校入試問題の社会の問題と解答用紙の一部を見てみましょう。こちらは福岡県教育委員会の HP から閲覧できるため、画像は見やすくなっています。

6 下の会話文は，勇太さんと正子さんが，「安心して暮らせる社会」をテーマに学習した際，資料集をもとに会話した内容の一部である。会話文を読み，各問に答えよ。

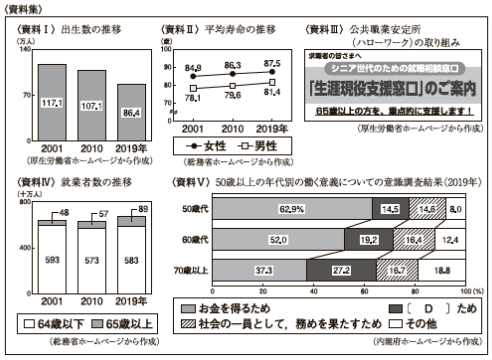
勇太：日本の人口の特色をみてみると，資料Ⅰ，Ⅱから，〔　A　〕ことが読み取れるので，（B）化が進んでいることがわかるね。
正子：（B）化が進む日本では，今後，どのような取り組みが求められるのかな。
勇太：国が行っている取り組みの一つである，資料Ⅲを見つけたよ。なぜ，このような取り組みが行われているのかな。
正子：この取り組みが行われている理由の一つは，資料Ⅳから，〔　C　〕からだと考えられるね。高齢者が，自分の希望に合った働き方ができるようになるといいね。
勇太：そうだね。わたしたちも，将来働く際には，自分の能力を発揮して，自分が社会で何を実現したいのかを考え，資料Ⅴのような，働くことの意義を見いだしていくことが大切になってくるね。

問１　会話文の〔　A　〕にあてはまる内容を，資料Ⅰ，Ⅱから読み取り書け。また，（B）にあてはまる語句を書け。ただし，同じ記号には同じ語句が入る。

問２　会話文の〔　C　〕にあてはまる内容を，資料Ⅳから読み取り，「全就業者数」の語句を使って書け。

問３　会話文の下線部について，資料Ⅴの〔　D　〕にあてはまる内容を書け。

〈資料集〉



4

問１	県	県	県庁所在地	市	
問２	P		Q		
	理由				
問３	㋑				
	㋺				
	㋩				
問４					

5

問１						
問２	ⓐ		ⓑ			
問３						
問４	X					
	Y					
問５	㋐		㋑		㋒	
問６	(1)	商品		立替払い		
	(2)					

6

問１	A	
	B	
問２		
問３		

左側は6の問題です。「安心して暮らせる社会」という現代的なテーマで、５つの資料と会話をもとに問題を解きます。ここでは、資料をしっかりと読み解き、それを表現する力が必要となります。

右側は社会の解答用紙の後半4～6です。ぱっと見て気づくのは、横に長い解答欄や２～３段になっている解答欄が多いということです。ここでも、表現力を求められていることがわかります。

さて、いかがだったでしょうか？時代の変化と共に、子ども達に求められる力もテストの形式も変化しています。これからの時代を生きていく子ども達は、「覚える・できる」ことだけではなく、「覚えたことやできるようになったことを、どう使うか？　どのように生かしたり、発揮したりするのか？」が求められるようになります。

このような力を育成するには一朝一夕には成りません。日々の積み重ねが必要となります。授業をきちんと聞くことや自分の考えを書き表すこと、他の人の意見をしっかりと聞くことが必要です。そう考えると、生活ノートも「今日はきつかった」だけでは力がつきません。「今日は、家でゆっくりできたので、テレビドラマを見て、楽しんだ」というように書けると良いでしょう。また、本を読むことも大事です。スマホが流行っている現代ですが、やはり活字を読むことはいつの時代でも重要です。いきなり１冊の本を読むとか、高いハードルを設定しなくても良いので、少しずつ活字に触れることが大切です。

授業をしている先生方も、単に知識の伝達にならないよう、研修をとおして様々な工夫をして授業をしています。太宰府西中学校では、少しだけ難しい課題を設定し、その課題の解決をはかるという授業を目指しています。

このような小さな１歩ずつの積み重ねが、これからの時代を生きていく力となります。

そして、学習指導と同様に大事な「豊かな心の育成」の指導にも取り組んでいます。あいさつや掃除、言葉づかい、相手を思いやる気持ち、人間関係づくりなどです。

これらの学習をとおして、これからの時代をたくましく生きていく子ども達を育成していきたいと思います。

これからも太宰府西中学校へのご理解とご協力をお願いいたします。